

2016年度 冬季研修会 (2017年1月28日 たかつガーデン)

参加された方のアンケート集約

参加された皆様 アンケートご協力ありがとうございました。
講師の方にお伝えするとともに、今後より良い取り組みを行えるようにするための参考にさせていただきます。

文章表記等、基本的にお書きになった原文そのままにしておりますが、一部、必要に応じて書き換えさせていただいておりますことご了承ください。

なお、同じような意見を複数の方がお書きになっている場合、割愛させていただいているものもあります。

1、各分科会について

A ソーシャルスキルトレーニングを活用しよう

早野 眞美 教頭先生、川口喜志子 先生、下野広文 先生、植野 耕司 先生
(大阪府立箕面支援学校)

グループワークなど参加型の研修で良かった
実践にすぐ役立つ研修だった
講師の先生方の情熱に感動した
等のご意見が多くありました



- ◎ 支援学級だけでなく、活用できるトレーニングの内容でした。障がいの有無とは関係なく人間関係づくりがむずかしいと感じている子どもも多いと思いますが、一人ひとりをつなげていくきっかけとしてどこかで活かしていきたいものです。
- ◎ 今まで本を読んで自己流でやっていましたが、基本の確認と大切にすべき事を学べました。過去、現在に関わった生徒についても何が必要で何をすべきかが少しわかった気がしました。
- ◎ 参加型の研修は苦手ですが、とても楽しくあっという間の時間でした。改めて、子ども達との関わり方と再確認できました。視覚的に教材をしっかりと利用していきたいと思います。
- ◎ ロールプレイなどの体験的なワークがあって楽しく学べた。構成的エンカウンターで他の受講生の人とも話ができ、その話をする過程で多少ともコミュニケーションが苦手な子の気持ちを感じることができたと思います。
- ◎ 今回、参加させていただいてよかったです。中学校に勤めており、通常学級との生徒との関わり方がむずかしいと困っている先生方に伝えていきたいと思いました。
- ◎ 演習があって、楽しく学べた。ライフスキルトレーニングをもう少し詳しくやって欲しかった。
- ◎ アンガーマネジメントがうまくできない子どもが多く、毎日けんかが起こります。ソーシャルスキルストーリーを知らせたり、ルールブックを見せたりすることである程度 衝動的な怒りの感情がおさえられるかもしれないと思いました。リフレーミングによって 自己評価を上げ、自信を持つことで子ども達はもっと楽で穏やかに過ごせるんだろうなと感じました。

- ◎ 本学級にも、友だちとの関わりがうまくいかず、トラブルを起こしてしまうA君がいる。高学年になって、友だちと遊びたい気持ちが強くなり、うまくいくこともあるが、言葉より手足が衝動的に出たり、くやしきから暴言が出たりすることがある。今日のロールプレイなどのワークもまじえた研修で、改めてA君のこと、彼の思いに寄り添ってサポートしていきたいと思った。リフレーミング、SST 頑張って実践していきたい。箕面支援学校の先生方のパフォーマンス とても分かりやすかったです。明日からの支援にいかせていこうと思います。
- ◎ ソーシャルスキルの本などを読むことはありましたが、実際にどのように実施するのか、なかなかイメージできなかったのも、やってみてもこれで良いのかという不安はぬぐえないでいました。ですが、実際に体験的に取り組むことができたので、とても勉強になりました。
- ◎ 実践形式で大変有効でした。これほどの内容を準備されるのはすごく時間がかかり大変だったと思います。
- ◎ 講師の先生お一人お一人の人間関係づくりへの重い、支援教育への思い、素敵だなと思いました。
- ◎ 今すぐクラスに持って帰り使っていけそうです。とくに話し方は、今担任している1年生に伝えたいです。
- ◎ 話ばかりでなく、わかりやすい演技を入れていただいてよかったです。休日なのですが、参加してよかったですと思えました。
- ◎ 支援担2年目でソーシャルスキルの指導をどう行っていくべきか悩んでいたのですが、皆さんの話を聞いて、学校で試してみたいことがたくさん見つかりました。モデリングは、今までしたことがなかったので、これからいろいろと試して、子どもにあった方法を試してみたいです。
- ◎ 演習もたくさんあり、グループで話したり参加型なのがとてもよかったです。子どもにつけてあげたい力としてだけでなく、子どもと自分の関係づくりにも大切な力だと思いました。
- ◎ 具体的なソーシャルスキルトレーニングの例を教えていただいて良かったですし、書籍も紹介いただいてよかったです。
- ◎ 演習を入れていただいたので、なごやかに研修ができました。子どもたちが安心できる環境の中で、心をつなげて指導していくことの大切さを学びました。リフレーミングは、子どもたちに気づかせていきたいと思いました。
- ◎ おでこにシールを貼って声を出さずにグループを作る活動は、教師の研修のアイスブレイキングで使えるなと思いました。実際の場面を想定しての活動は大変有意義でした。
現在、保護者の希望で、SSTを手探りでやっています。(本人は全くやる気がありませんが…)それで本日の研修に参加させていただきました。SSTも参考になりましたが、別の児童にアンガーマネジメントの手法が有効ではないかということに気がきました。
- ◎ 具体的実践の中からの提案で、わかりやすくとても有意義な時間になりました。支援学級の児童という枠でなく、通常学級の中で、SSTをどう取り入れていくことができるか、イメージできるよい機会となりました。
- ◎ ロールプレイを通して、自分でやってみて、はっと気づくことができました。やってみるものの大切さにあらためて気づきました。
- ◎ とても楽しくソーシャルスキルを実践的に学ぶことができました。支援級ばかりでなく通常学級の集団作りでも活かせるのでうれしいです。言葉の発し方、気持ちの鎮め方、教師側からの子どもの見つめ方、…。さまざまなことを教えていただきました。レジュメを大切にしながら、色々なシーンで活用していきたいと思っています。

B 子どもの実態把握について考える ～WISC-IVの検査結果を支援に活かすために～

富田 淳 先生 (大阪府立東住吉支援学校)

検査結果をどう活かしたらよいか
わかりやすい言葉、わかりやすい事例で、具体的な
支援につながるお話が聴けて良かったです
等のご意見が多くありました



- ◎ 子どもの実態把握を深め、さらに指導に活かすためにこの講座を受講させていただきました。標準出現率とパターンとかが少し理解を深めることができました。より具体的なお話でありがたかったです。
- ◎ 具体的な事例の細かい説明をして下さったので、想像しやすくとてもわかりやすかったです。今までWISCというものが今一つよくわからなかったのですが、今回の研修で理解もでき、学校の資料をもう一度読み直してみようと思いました。
- ◎ 今日の話聞いて強みになる所を伸ばしていくためのアイデアが色々と浮かんできました。テンポが良く、わかりやすい言葉で具体的に話をしてくださるので、とても安心して聞くことができました。
- ◎ ワーキングメモリーの説明での「むすんでひらいて」の体験はわかりやすく、職員への説明にも使ってみようと思いました。
- ◎ WISCの結果の見方や支援方法など詳しく教えていただき、よくわかりました。明日からの指導につなげていきたいと思います。これからも事例を教えてくださいたいと思います。
- ◎ わかりやすく説明していただき、よくわかりました。子どもの得意なところ、苦手なところを見極め、個々に応じたサポートをしていきたいと思います。
- ◎ 子どもの行動観察が重要であることがわかり、もっと観察をしなければいけないと思いました。
- ◎ WISC-IVの検査結果の説明を丁寧にして下さり、大変よくわかりました。普段関わっている児童を思い浮かべ、WISC-IVの結果がどうだったのかをきっちり見れていない気がしました。うまくいかせていないと感じたので、見直し、支援していることが適切かを検討したいと思いました。今日きくことができたのでとてもよかったです。今後、このことを大切にして、より良い支援ができるよう心掛けたいと思います。
- ◎ 検査結果を保護者から提示されることが多いので、本日の講義で、どう把握し、どう支援に活かしていくか理解が深まりました。
- ◎ WISC-IVの詳しいお話が聴けて良かった。検査結果報告書を見ただけではなかなか分かりにくいことがあったので、具体的な事例が提示されてわかりやすかった。他の事例もお聞きしたいです。
- ◎ WISC-IVについての基本的な知識を学ぶことができました。参考文献を読んで、もう少し理解を深めていきたいと思いました。そして今後の実践に活かしていければ良いなと思いました。
- ◎ 基礎的なことから教えていただきましたので、とても分かりやすかったです。具体的な話をたくさんしていただいたので、明日からの子どもたちへの支援に活かしていこうと思っています。
- ◎ WISCについて知り、その結果の分析や支援の手立てを考えるにあたっての知識が科学的に必要だと感じました。今日は分かりやすく教えていただき、支援方法が少しくリアに見えた気がします。
- ◎ WISC-IVに関する研修は今回で4回目です。最初の研修の時は自分自身勉強不足なところもありすごく難しかったです。回数を重ねるごとに自分自身の知識をして少しずつ分かることも増えてきて楽しくなってきました。今回も自校の子どもたちに重なるお話もあり、大変参考になりました。今後より良い支援ができるよう取り組んでいきたいと思う研修でした。
- ◎ 巡回相談でいつも見るWISCの結果でしたが、今日先生のお話を聞いて、初めてストンと落ちました。学校に帰って子どもの検査結果を見て、指導の方法を考える時に役立つと思います。

- ◎ 通級担当としてWISCをとる機会があるのですが、今一度基本に立ち返って整理する良い学習の場となりました。とても分かりやすく良い研修だったと思います。実際の支援に結び付ける助言が大切だと改めて感じました。
- ◎ 検査の各項目の名前は知っていましたが、それが具体的に子どもの弱い力としてどう表れるのか知れて勉強になりました。
- ◎ WISC-IVの難しい内容をかみ砕いて教えていただいたので、少しいメージができるようになってきました。これから先、WISC-IVを取るための資格要件などより大変になっていて、子どもたちがお金を払わないと発達検査を受けられなくなってしまうのではないかと不安です。資格についての詳しいお話も聞いてみたいです。
- ◎ WISCを今までIQのテストのように思っていました。生徒の指導の道筋として活用します。
- ◎ 検査のことは、(検査に) 3-4年関わって、ようやく分かるようになってきました。小・中学校の先生方は、検査が身近でないため理解しにくいと思われます。継続的な研修会の開催が必要だと思います。

C **ビジョントレーニング ～見ることは分かること～**

榎場 政晴 先生 (大阪府立茨木支援学校)

わかりやすいお話で良かった
 教材の用意など準備いただいたことに感謝します
 学んだことをぜひ活用していきたい
 等のご意見が多くありました



- ◎ 視写のできない子どもにすぐにでも、ジオボードを使ってみたいと思った。通常学級でも活用できる教材でとてもよかった。
- ◎ 基本的なビジョントレーニングから、教材を使った実践まで、有意義な時間ありがとうございました。支援学級でも、個別の対応として、書字に困難さのある児童は、多数います。そういった子どもたちに対してジオボードの実践等、試みていきたいと思います。
- ◎ 字がマスにおさまらない、ななめになる、正しい字がなかなか書けない、漢字をおしいところまで書けているのに線が一本多い又は足りないなど、課題をかかえた子がいる。ジオボードのトレーニングをぜひ活用してみたい。
- ◎ 最近気になっていたビジョントレーニングを実際に体験することができてとても良かった。自分の担当の児童にすぐにでもトレーニングをしていきたいと思いました。
- ◎ ”イメージする”ということが難しいとなると話し方や見せ方を考えなければならないなと思った。言葉や経験を自分自身で理解し説明できるようなトレーニングが必要だが、具体的にどうしたらよいのか...
- ◎ 先月、他の所でもビジョントレーニングの話をききました。同じ内容の部分でも話す人によって理解の仕方が違うと感じました。今日のお話では実技もあり、あつという間の2時間でした。また、自閉症のお子さんの話など思っていなかった話もきけてビジョントレーニングの大切さを感じました。
- ◎ 見る事がいかに大きな影響を与えるかしっかりと理解することができた。

- ◎ 貴重なお話をありがとうございました。日頃は自閉症の子どもと関わる機会が多く、自閉症の子どもにも応用できそうなアイデアや実践がたくさんあり、すごく勉強になりました。模写にしても、ビジョントレーニングにしる、普通にするとおもしろくないので、子どもを楽しませるアイデアや工夫をたくさん考え、試していかないとなと思いました。手先を使うことでイメージが湧くということだったので、子どもに手先を使うトレーニングをたくさんさせたいと思いました。
- ◎ 板書で困っている生徒が多く、どう支援したら良いかを知りたくて参加しました。今日はとても多くのやり方を学びました。現場で使ってみます。
- ◎ 見る力をつけるだけで文字が見やすく書けたりするのはとてもびっくりしました。点つなぎをさせていたのですが、ジオボードを使うだけで効果が違うと知り、是非取り組んでみたいと思いました。どの話も興味深くとても勉強になりました。
- ◎ もう少しお話を伺いたかったです。見る力、見え方についてよくわかりました。子どもたちの見え方をチェックし、教えていただいた教材やゲームのようにできる活動を通してトレーニングしてみたいと思います。ビジョンについてももっと勉強したいと思いました。
- ◎ 見本（実物）を見せてもらいながら、実際に取り組みながら、話を聞かせて頂く事で分かりやすく、又これから指導していくときに「こうしてあげたらいいねんな」という事がイメージしやすかったです。自分が勉強を教えている子に、少し気になる子がいるので、取り組んでみようと思います。
- ◎ イメージする力を育むことの重要性がよくわかりました。視覚支援の先生のお話も是非お聞きしたいです。教材教具をこれからの授業に利用していきます。
- ◎ 多くの支援方法を教えて頂き大変勉強になりました。日々のかかわりの中で悩んでいたことが解消される場面が何度もありました。
- ◎ ビジョントレーニングの必要性は感じながらも、実際にどんなトレーニングが良いのか分からなく、やらなかったけれど、本日は実用的、即実践できるトレーニング方法と実際に子どもがどう変わったのかという例を示していただき、元気が出ました。
- ◎ たくさんの教材を紹介して頂き、100円ショップで手に入れる物もあったので、ためしてみたいと思いました。成果も見れて、ビジョントレーニングの効果をあらためて知る事ができました。とても勉強になりました。
- ◎ ビジョントレーニング、中学のテニス部の生徒にも試してみたくくなりました。

D 研究部担当 各地区からの実践報告

すべての子どもたちにわかりやすい算数を

—村上タイルを使った〈なんとなくわかる〉からはじめる算数—

坪郷 正徳 先生（大阪狭山市立第七小学校）

学校で活かしたい、具体的な説明で良かった
教材作成の準備たいへんだったと思います
準備など熱意あるご指導に感謝します

等のご意見が多くありました



- ◎ 先生の細かい視点がすごいなあと思いました。担任している子どもたちにすぐに実践できそうです。
- ◎ 具体的にできる内容を教えてもらえて本当によかったです。日々悩んでいることが随分すっきりしました。
- ◎ 実際指導で困っていたところの指導法を教えていただき、月曜からまたやってみたいと思いました。
- ◎ すぐにも実践してみたい方法でした。子どもの苦手なところに寄り添っておられて本当にすごいなと思いました。その子に合った指導法を探していきたいと思いました。
- ◎ あっという間の2時間でした。数量感覚のお話が自分のなかにすんと落ちました。数量感覚を目から学ばせていくことはとてもわかりやすいですね。コツコツ続けて行こうと思います。
- ◎ 視覚教材、経験してできる楽しい学習方法を学び、よかったです。くり上がりくりさりの難しい児童を目に浮かべ、即実践したいと思います。
- ◎ 今担任している子が2年生に進級するにあたって、指の使い方を指導し始めたのですが、もうちょっと粘ってタイルで指導していく自信ができました。
- ◎ 名前に惹かれてこの講座を選びました。あついお話おもしろかったです。子どもたちが実際にタイルを目にして操作して学習を進めていくうちに数量感覚がみについていくのだろうと思いました。
- ◎ 普段自分の感覚で筆算を入れたりタイルを持ち込んだりしていますが、外れてはいないと思えました。量感覚につながる指導の足りなさは私も感じています。タイルは大人もさわってスキルアップが必要だと感じました。
- ◎ 最近1年生の算数に入り込み支援をすることが多く、1年生の算数ってとても難しいのだなと驚いていたところなので今日の研修は勉強にもなったし、教えるときに役立つと思いました。何も無いところから数という概念を教えるということはとても難しい事なのですね。でもこのタイルを使えば頭の中で想像するきっかけを踏めそうで、数について考えるという練習になりそうだと思います。教室でも実践できるよう練習してみます。
- ◎ 村上タイルはオレンジと黄色ですが、色覚障害でオレンジが見えづらい子がいます。黒板では何色が良いか教えて下さい。
- ◎ 村上タイルは初めて知りました。7や8は色が違うと認識しやすいこと、ひきざんは5も2もとらせて2を白く裏返すことよくわかりました。
- ◎ 大変勉強になりました。以前中学校支援学級を担当した時、ダウン症の生徒がいつまでたっても1ケタの足し算ができずになかば指導をあきらめたことがあり、(10年以上前)悔やまれます。あの時このタイルの方式を知っていれば彼女の数的概念がもしかしたら向上したのかな... と思いました。
「入力→思考→出力」を算数の概念に置き換えられたところや、「読み→かき→計算」のステレオタイプの考え方をみごとに覆して?教えていただいたことなど目から鱗の思いがしました。現場に持ち帰り、共有していけたらと思います。
- ◎ 5までのかたまりで教えた方が... と思いながらも教科書に合わせて10の補数で指導していました。個に合わせて指導できる支援で、村上タイルを使って量感覚をつけていこうと思います。
- ◎ とってもためになった。分数や小数も使ってみたい。



2. この研修会の運営全体についてのご意見をお書きください。

(参加申し込み～事前準備～当日運営 その他)

何人もの方から、内容設定・運営について高く評価いただきご意見をいただきました。
ありがとうございました。

- ◎ 申し込みは、返信も早く、いたってスムーズでした。
- ◎ インターネットを通じて申し込めたのがよかったです。
- ◎ 毎年ニーズにあった研修をしていただくので毎年参加しています。お忙しい中で運営してくださり有難いです。
- ◎ 申し込みと違う講座に移動できる可能性もほしかった。
- ◎ すぐに人数が埋まったということなので、とてもよい研修だったと思うので、より多くの先生方に聞いてもらえたらと感じました。
- ◎ 午後のビジョントレーニングの研修も受けたかったので、また研修していただければありがたいです。
- ◎ ご丁寧な会場案内ありがとうございます。
- ◎ 参加申し込みをしても、行けないことがあるので、希望枠を増やしていただけるといいな、と思います。
- ◎ 午前午後間の休憩時間が長く感じました。1時間あればよいと思います。
- ◎ どちらも（ソーシャルスキルの研修と子どもの実態把握の研修）資料がコンパクトにまとめられていて、すごく勉強になりました。午前、午後、2時間半ぐらいがちょうどよい。間に10分の休憩を入れる。

3. 大支援研として、これから、どのような研修会や講演会を行えばよいでしょうか。

できれば、具体的なご提案やご意見をいただければ、幸いです。

- ◎ ライフスキルトレーニング
- ◎ 支援教育コーディネーターの役割の1つとして、新1年生（小学校）の入学説明会等でどのようなこととお話していったらよいのか。（支援教育の理解を広めるにあたり）
- ◎ 配慮を要する児童や支援学級に在籍児童のいるクラスの子どもたちへの理解をどう得ていくのか。
- ◎ 今までのように教育現場ですぐに役立つ内容をしてください。
- ◎ 集中トレーニングの研修
- ◎ 支援が必要な児童の保護者への相談のやり方やアドバイスのしかたについて
- ◎ 感覚統合、ブレインジムの手軽で楽しい実践方法があれば教えてほしいです
- ◎ 毎回この講座が（夏も含めて）満員になり参加できず悲しい時があります。場所をもう少し広くして、参加人員を増やしていただけるとありがたいです。
- ◎ 支援を要する児童・生徒と不登校（起立性調節障がいなど）についての研修、講座。
- ◎ 事例検討会
- ◎ 具体的な事例をあげ、支援の方法をグループワークとして考える研修
- ◎ 自閉症スペクトラム理解の講演会
- ◎ 支援児童に対する性教育
- ◎ 通常学級生に対する支援教育
- ◎ いろいろな事例からみるアセスメント方法
- ◎ 教材等の例で小学校の内容が多い。中学校で活用できる内容、教材実践例も知りたい。
- ◎ 本日のような普段にいかすことができることを研修、講演していただけたらためになります。またこのような機会があれば参加したいです。
- ◎ 言語療法、作業療法と学校での取り組みをつなぐ。

- ◎ W I S C -IVなどの検査の専門的な内容が聞けるとありがたいです。
- ◎ 特別支援教育の世界の潮流と大阪の支援教育の流れとのギャップ
- ◎ ふだんの実践に役立つこと
- ◎ ユニバーサルデザインの教室例
- ◎ 支援での性教育
- ◎ コーチングについて
- ◎ 愛着障がいについて
- ◎ また。コグトレ お願いします。
- ◎ 算数も受けたかったです。
- ◎ ビジョントレーニングのような参加型だと楽しく学べます。
- ◎ 教材作りは明日から使えるのがうれしいです。
- ◎ ひらがな、カタカナ、漢字など字のバランスのとりにくい子の指導について。
- ◎ 今日のように教材をいっしょに作って下さる研修会はとてもありがたいです。
- ◎ 特別支援の基本的な内容を希望します。

※ アンケートにお書きになられた貴重なご意見に対して感謝申し上げます。
今後の参考にさせていただきます。

☆ 参加申し込みについて、準備の関係で事前の申し込みをお願いしています。煩雑さを避けるため、インターネットのサイトからの申し込みに一本化させていただいております。ご理解ください。もし何か事情がある場合等は、大支援研のサイトのトップページの「お問い合わせ」、あるいは担当者へF A Xで連絡をお願いします。

一部、学校のネット環境などの関係で、w e bでの申し込みができない方や、返信メールが届かない事例などもありました。その場合、電話・F A X等で問い合わせいただければ、必要な対応をさせていただきます。

☆ 参加申し込み状況に応じて当日の会場配置を決定し、1週間ほど前より大支援研のHPで案内させていただきました。今後も必要な案内をさせていただきますのでw e bサイトをご覧ください。

☆ 当日の運営に携わっていただいた各支部の役員の先生のおかげで良い研修会になりました。役員の皆様、本当にありがとうございました。

☆ 大支援研ニュースを府内各校にメール配信していますが、不十分なところもあり、そのために情報が伝わっていないとも聞きます。今後の改善の検討が必要と考えます。

一部市町村や支援学校などで、関係教職員にメール転送されているところ、案内文配布がされているところがあり、それで知ることができた、という声もありました。各市町村・学校でご協力いただいていること感謝します。

会場の定員の関係で参加できなかった方が多くおられ、
申しわけございませんでした。

今後の研修会の運営等について検討し、よりよい研修会を目指していきます。